



「佐藤 浩紹 教務所長 就任挨拶」

12月1日付をもちまして、東海教区教務所長・本願寺名古屋別院輪番を拝命いたしました。有り難く存じますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

あたかも本年は東海教区・本願寺名古屋別院において宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要並びに本願寺名古屋別院本堂復興50年記念法要が盛儀のうちに厳修され、皆さまの並々ならぬお力のお陰によりまして次の世代へとお念仏を伝えていく力強い起点となったことでございます。

もとより浅学非才の身ではございますが、益々の教区の護持発展とご法義繁盛に向けて、全力で与えられた課題に取り組む所存でございますので、何卒皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、略儀ながら就任のご挨拶とさせていただきます。 合掌



発行所
東海教区教務所
愛知県名古屋市中区
門前町1番23号
TEL 052-321-0028
FAX 052-332-4097
info@tokai-hongwanji.net

編集
教務所長 佐藤 浩紹
東海教区委員会 広報部

ビハーク東海「研修会」開催について

研修会（10月21日）で録画した映像を、YouTubeにて限定公開しております。LGBTQに関する講演です。ぜひご視聴ください。

テーマ 「このままで、ここにいていい」

講師 風間 孝さん（中京大学教授）

公開期間 年内中

<https://youtu.be/8lidyYkAMB8>



YouTube

※お問合せ～神田

寺族青年連盟「研修会」開催について

日時 2025年1月31日（金）14:00～16:00

会場 本願寺名古屋別院

講師 林田 康順さん（大正大学教授・慶岸寺住職）

テーマ 「今こそ、浄土宗の話を聞こう。～法然上人による浄土宗開宗の意義～」

参加費 1,000円

※お問合せ～神田

寺院女性連盟「研修会」開催について

日時 2025年2月20日（木）14:00～16:00

会場 本願寺名古屋別院

講師 伊藤 亮超さん（朝明組常照寺住職）

テーマ 「仏華について」

参加費 無料

※お問合せ～神田



願記の確認

- 願記申請冥加金（教区願記手数料含）につきましては現金書留、又はご持参くださいますようお願い申し上げます
- 任期満了に伴う責任役員任命申請及び門徒総代届につきましては、満了日の2ヶ月前から書類を受理いたします
- 願記のべ切について宗派締切日の2週間前までに教務所まで提出いただきたくお願いいたします

年末・年始事務取扱い休止について

年末年始の12月29日から1月7日まで、教務所では願記書類・諸宗務などについての取扱いを休止いたします。

上記期間中に送達された願記書類等については、新年事務開始後の受理となりますので、ご注意ください。

※ただし死亡扱いについては通常通り取扱いいたします。

※お問合せ～真木

東海教区行事案内

《12月》

23日(月) 少年：理事会 (Web 併用)
 25日(水) 布教団：役員会 (Web 併用)
 27日(金) ご縁：委員会 (Web 併用)

《1月》

14日(火) 連研部会 (Web 併用)
 18日(土) 勤式：講習会 (Bコース)
 21日(火)～22日(水) 仏婦：一泊研修会

本願寺名古屋別院より

<常例布教>

それぞれ 10:00～、13:00～のおつとめ後です

1月15日(水)～16日(木)

講師 朝山 大俊さん (大阪府法音寺)

講題 『仏さまを拝む』

2月5日(水)～6日(木)

講師 寺尾 俊洋さん (三重県延長寺)

講題 『み仏とともに』

<昼の講座(第4回)> 『お寺でいけばな』

1月25日(土) 13:30～15:30

講師 石黒 由里さん

(華道家元池坊華督 名古屋支部所属)

※お問合せ～浅井

<夕べの講座(第5回)> 『続・和のこころ』

2月19日(水) 17:00～19:00

講師 玉木 興慈さん

(龍谷大学教授 大阪教区浄興寺住職)

※お問合せ～浅井

東海教区教務所より ※敬称略

敬吊

黒田 英昭 (員弁組唯照寺前住職)

住職任命・退任

大山 晋 (海幡組永照寺衆徒住職任命)
 大山 文雄 (海幡組永照寺住職退任)

住職代務任命

瀧 義孝 (名古屋組正信寺住職代務任命)

得度許可

川添 生 (名古屋組法光寺)
 西村 宣 (名古屋組法光寺)
 千賀 博道 (額田組圓宗寺)

教師授与

中尾 賢輝 (額田組照雲寺)
 浅井 教祥 (額田組長善寺)

掲示板

皆さまからのお知らせです

会場はどちらも本願寺名古屋別院

『恵信尼様からのお手紙』『恵信尼文書に聞く』

日時 12月18日(水) 17時～19時

講師 星野親行さん (行信教校講師)

参加費 2000円

※お問合せ～高梨顕浄さん (額田組誓林寺)

Tel 080-6114-5578



願記に関すること 2024年度

宗務所開催	期間	定員	締切日
得度習礼	2025年2月6日(木)～2月16日(日)	70名	12月28日
	2025年3月6日(木)～3月16日(日)		1月25日
教師教修出願 資格試験講習会	【講習会】2025年3月7日(金)～14日(金)	40名	講：1月26日
	【試験】2025年3月17日(月)18日(火)		試：2月5日
教師教修	【通期】2025年3月18日(火)～3月27日(木)	70名	2月6日

※お問合せ～真木

★「第2連区ビハラー研修会（ビハラー東海担当）」に参加して 講師 風間 孝さん

テーマ「このままで、ここにいていい」

10月21日、第2連区ビハラー研修会に参加させていただきました。

風間孝さんは「特別なことではない、誰の身近にも、言えないだけで性的マイノリティの当事者はいます」「当事者がいるんだということを念頭に置きながら発言したり、場を整えたりしていくといい」ということを、とても平易な言葉でお伝えくださいました。性的なマイノリティだけでなく、人は何かしらについて必ずマイノリティな部分があるのだと思います。食べ物の好き嫌い、好きなアーティストが違うなど、必ず大勢のほうに属している人はなかなかいません。そしてそのことについてあまり責められることはないと思います。

自坊での取り組みとして、「LGBTQ+について学んでいます」と Web サイトに記し、全日本仏教会で出されているステッカーをお寺の入り口に掲げてあります。それを見て「実は私・・・」と打ち明けてくださる方もいらっしゃいます。

まずは知ろうとすることが大事だと改めて感じた講座でした。



◎三宅 千空（名古屋組教西寺）

★「第2連区仏教セミナー（福井教区主催）」に参加して 講師 義本 弘導さん

テーマ「あなたの仏仕、何してる？」

第2連区仏教壮年会セミナーが本願寺福井別院で11月2日～3日の2日間開催されました。

1日目は、仏仕の活動充実、活性化、交流を目的に、福井教区の組織拡大・活動の充実報告から始まり各教区の活動報告後、仏教壮年会連盟中央講師の義本弘導さんより講義を頂き、参加者全員で活発なグループ討議、意見の交換を行い、その中でも福井教区から参加されている40代、50代の会員の方からの意見に参加者全員が耳を傾け、入会した経緯、活動内容に対し、熱い意見交換が交わされました。

2日目は、連区セミナー初のワークショップを福井市在住で地域貢献されている森木栄一さんを講師に、福井別院内のホールで竹灯籠作りをして盛り上がりました。使用する竹は、長さ3m・太さ20cm。この竹に穴をあけて模様を描くための電動ドリル。刃具は1mmから25mmで、最初は皆さん、「時間内にできるか」「難しいぞ」と困惑ムードでしたが、森木さんから、製作方法の説明を聞き、「孫に作る」「お墓に立てる」など、やる気マンマンで製作開始。製作を見守っていただいていた、義本先生からも下り藤をデザインし、自ら製作されていました。

最後に皆さんからお互い御同朋として教区、宗門を盛り立てる一翼を担えるよう頑張ろうと声を掛け合いながら研修を終えることができました。

◎種村 美樹（員弁組源光寺門徒）

★「勤式練習所 勤式講習会（Aコース）」に参加して 講師 伊藤 亮超さん

テーマ「一般作法・被着法・執持法・打物法・荘厳法について」

法務に携わって10年にもなりました。その中で気になっていたのは、作法や被着法は正しいのかということでした。教師教修からも長い時間が経ち、改めて専門の指導者から指導を受けたいと思い今回のご縁となりました。

ご講師が強調された七条袈裟は僧綱板、切袴が揃って礼装であり、いずれかがない正式な礼装ではないとの事。日頃欠けがちな部分であり、新鮮な驚きを得ることができ有意義な時間となりました。

◎山田 教史（三重組西勝寺）

★「門徒総代会 一泊研修会」に参加して 講師 大江 智紹さん

テーマ「正信偈をと覚えてみよう！～正しい作法を身につけて～」

東海教区門徒総代会の一泊研修会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4年間中止となっていました。が、本年久々に再開となりました。当初は理事会でも参加者が少なく、開催を危ぶむ意見もありましたが、10月29日（火）～30日（水）に蒲郡市「ホテル竹島」で開催の運びとなりました。

テーマは「正信偈をと覚えてみよう！～正しい作法を身につけて～」と題して元本願寺式務部に勤務された東海教区額田組長光寺の大江智紹さんを講師に参加者総勢36名で開催しました。

日頃何気なくとなえている正信偈では、博士の意味や使い方、草譜・行譜の違いや注意点を細部にわたっての指導があり、改めて再認識することができました。また、作法について仏壇のお荘厳では御本尊、脇掛、上卓と前卓のお荘厳では三具足、五具足について、香炉の向き、蝋燭の赤白の使い分け、聖典やお念珠、式章の扱い方、合掌礼拝の作法、焼香時のポイント等を改めて気付かされることばかりでした。夜の懇親会では熊谷正明教務所長のサクソ演奏や、講師による和楽器の笙の音で最大に盛り上がり、最後は皆のカラオケで一段と懇親を深め楽しい2日間の研修となりました。次回もぜひ参加したいとの声もいただき、開催して大変良かった研修会でした。



◎中根 義一（額田組長光寺門徒）

★「寺族青年連盟 寺族青年のつどい」に参加して

寺族のつどいでタイ王国（通称タイ）へ行くことになりました。

タイは外務省のデータによると国民の94%が仏教を信仰しているとあります。タイの首都バンコクにはとても大きなお寺が建ち並びます。私たちはその中で「ワットプラケオ」「ワットポー」「ワットアルン」「ワットバクナム」というお寺へいきました。（ワットというのはタイ語で寺院をあらわします。）特に印象に残ったのは「ワットポー」というお寺です。

「ワットポー」は涅槃寺とよばれ、頭を北に、顔を西に向け、右脇を下にして（横向きに寝るような形で）涅槃に入られるお釈迦さまがポット（タイの言葉で本堂）に安置されます。そのお釈迦さまの像はとても大きくて、高さは15メートル、長さは46メートルにもなります。しかし大きさ以上に私が心動かされたのは、お釈迦さまの足裏です。お釈迦さまの足裏は、まるで直角定規をあてたように平らかで、凸凹がありません。仏さまにあらわれる”三十二の良きおすがた”の一番目は、足裏が平らかであることだと伝わります。

仏説無量寿経にも第二十一願文には『たとひわれ仏を得たらんに、国中の天人、ことごとく三十二大人相を成満せずは、正覚をとらじ。』とありますね。この三十二大人相というのは、仏さまにあらわれる”三十二の良きおすがた”のこと。三十二大人相の一番目は足裏が平らかであること。そして、三十二番目は頭部・眉間に白い毛が右巻きに丸まっていること。お釈迦さまの像の足裏を見ている中で、先輩の布教使のあるお言葉が思い出されました。

「仏さまはつま先から頭のとっぺんまで、すべてあなたに与えたい」今振り返れば、私というのは実に自己中心的で自分の機嫌によってふるまいも変わってくる、ぐらぐら・ふらふらな生き方をしています。「そんな生き方をしているはいけないよ」お釈迦さまの足裏がそうわたしに語りかけてくるようでした。



「タイのお寺は、日本のお寺とどう違うんだろう」と思ってわたしはこの旅行に参加しました。正直、日本のお寺とタイのお寺は、同じところを探す方が難しいくらい違った装飾・違ったお寺のかたちをしていました。その一方で、お寺の中心。そこには必ず仏さまがおられます。そこには日本もタイも変わりありません。そして、その仏さまを拝む人々は、大変ありがたく、そのたびに日本での教えも思い出され、胸がいっぱいになりました。

◎小笠原元（名古屋組吹上寺）